岩盤ボーリング柱状図

調査名	廿日市市新機能都市開発構想計画に伴う一般県道廿日市環状線道路改良事業　設計業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　道路路盤

ボーリング名	No.5	調査位置	廿日市市新機能都市開発構想計画に伴う一般県道廿日市環状線道路改良事業			北緯	34° 21’ 34.1888″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和2年10月20日～ 令和2年11月14日	東経	132° 19’ 48.4307″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	74.03m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	38.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型			
			エンジン	クボタ　ER-80	ポンプ	東邦地下工機BG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
1				崖錐堆積物	黄褐							(100) (100)	小礫混りの砂質土からなる、表層10cmは表土で黒褐色、木の根が混じる。0.9mにも木の根が入る。													
2	72.03	2.00		花崗岩	茶褐	w5	h4	E	Ⅵ	d	DL	0[0](100) 0[0](100) 0[0](100) 0[0](100) 0[0](100) 0[0](100)	強風化したピンク色のカリ長石が目立つ粗粒花崗岩。造岩鉱物のほとんどが粘土化して全体に軟質。指圧で潰せる。GL-7.5mに傾斜50°の亀裂。亀裂沿いには幅1cmの黒色鉱物帯が形成されている。					10/20	100	S/MC		0	0	0	W3/0	0
8	66.03	8.00			灰褐	w2	h2	B	Ⅱ		CH	40[78](100) 47[77](100) 31[72](100) 74[94](100) 90[90](100)	GL-8.0～8.15m間の亀裂密集帯で急激に岩相が変化する。15～30cmの粘状コアとなる。コア表面は滑らかでハンマー打で金属音を発する。GL-8.6m、9.0m、10.0m及び10.9mでは、幅5～10cmの亀裂密集帯が分布する。亀裂密集帯はたたくと砂～礫状に砕ける。	10/23 8.35 10/24 11.40				10/21 10/23	67 75 80 75 86			0～200 0～100	120 120	0～0 0～0	W3/3～4 W3/3～4	2～3 0
13	61.03	13.00			桃～褐	w3	h3	C	Ⅲ		CM	25[68](100) 21[54](100)	微細な水平亀裂と傾斜70°の斜め亀裂が入り、全体に岩片状コアを含む。ピンク色のカリ長石の巨晶が目立つ。コア表面はやや粗い。	10/27 14.47				10/24	120 150			0～50	120	0～0	W3/3～4	2～3
15	58.83	15.20			灰褐	w2	h2	B	Ⅱ	b	CH	70[70](100) 45[78](100) 52[66](100) 45[83](100) 50[88](100) 30[80](100) 22[56](100)	最大62cmの長柱状コアを含む硬質花崗岩。ハンマー打で金属音を発する。水平～緩傾斜の亀裂が多い。亀裂面は新鮮で、狭材物はなくほぼ密着している。GL-16.95～17.18mには水平亀裂密集帯が分布する。この部分は岩片状コアとなる。	10/29 16.80 11/14 18.20				10/26	86 109 109 133 100 109		D/DC	0～100 0～100	120 120～130	0～0 0～0 0～0	W3/3～4 W3/3～4 W3/3～4 W3/3～4	0 2～3 0
22	52.03	22.00			灰～赤褐	w3	h3	C	Ⅲ		CM	13[34](100) 17[44](100)	粘土細脈に沿って、やや変質が進んだ区間となる。					10/27	92 120					0～0 0～0 0～0	W3/3～1 W3/3～4 W3	1～2 2～3 1～2

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15 1.45	6 300		
5	2.15 2.45	5 300		
6	3.15 3.45	6 300		
7	4.15 4.45	7 300		
11	5.15 5.45	11 300		
12	6.15 6.45	12 300		
14	7.15 7.45	14 300		
50以上	8.10 8.15	50 50	50	
50以上	9.10 9.17	50 70	70	
50以上	10.00 10.05	50 50	50	
50以上	11.00	貫入不能		

25				花崗岩	灰							30[80](100)	全体に10cm前後の柱状コアが主体となる。																						
												35[49](100)																							
26												50[68](100)	傾斜80°前後の縦亀裂が顕著で亀裂面は赤褐色に変色したところが多い。																						
27												20[74](100)	GL－24.5～27.7mには縦方向の粘土細脈が分布する。 粘土細脈は黄褐色を呈し、幅は1～3mm程度である。 粘土細脈沿いのコア分離はなく密着している。																						
28												27[50](100)																							
29												12[24](100)																							
30					～	w3	h3	C	Ⅲ	b	CM	20[54](100)	GL-30.0～36.4m間にも粘土細脈が分布。 粘土細脈の方向は傾斜80～90°とほぼ鉛直である。																						
31												30[50](100)																							
32												25[37](100)																							
33					赤褐							13[25](100)																							
34												14[14](100)																							
35												9[0](100)																							
36												18[32](100)																							
	37.43	36.60																																	
37					灰褐	w2	h2	B	Ⅱ	a	CH	17[57](100)	長さ20cm前後の柱状コアが主体となる。 水平～傾斜45°の亀裂が分布。亀裂面は新鮮で、狭材物はない。																						
	36.03	38.00																																	
38																																			
39																																			
40																																			
41																																			
42																																			
43																																			

25																																			
26																																			
27																																			
28																																			
29																																			
30																																			
31																																			
32																																			
33																																			
34																																			
35																																			
36																																			
37																																			